

# イチゴ

## 1 畑の準備

### 土作り

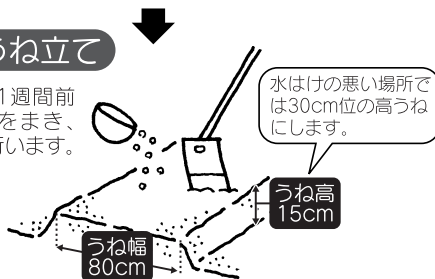
植え付けの2週間前までに苦土石灰、堆肥をまき深く耕します。



**土作り**  
 ・苦土石灰: 1㎡あたり100~200g  
 ・JAファーム有機堆肥: 1㎡あたり2~3kg

### 元肥・うね立て

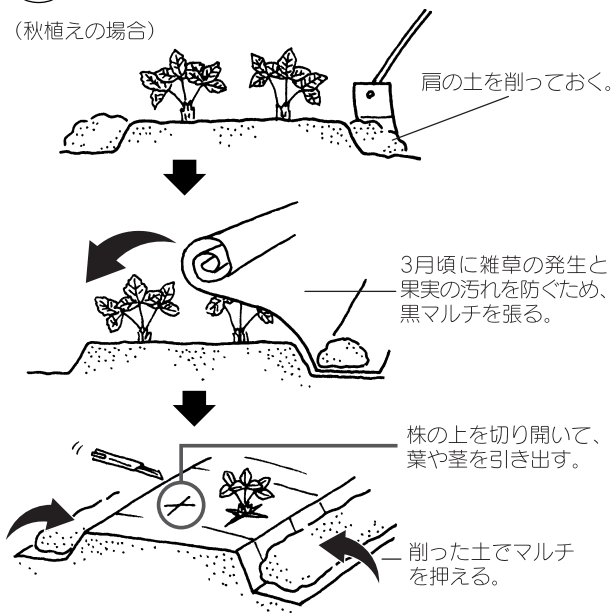
植え付けの1週間前までに元肥をまき、うね立てを行います。



**元肥**  
 ・JAファームらくらく有機100%肥料: 1㎡あたり300g(ひと握り約40~50g)

## 4 マルチ張り

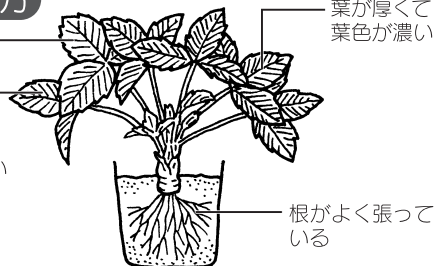
(秋植えの場合)



## 2 苗の選び方・植え付け

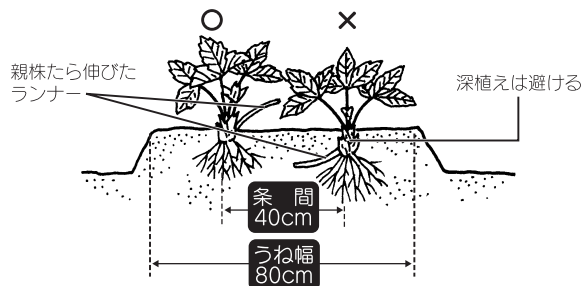
### 苗の選び方

病斑などがついていない



### 植え付け方

植え付けは株元についているランナー(親株から伸びたつる)の跡を、うねの内側に向けて植えると、花が反対側についてくるので管理がしやすいです。植え付け後は、十分に水を与えましょう。



## 5 収穫

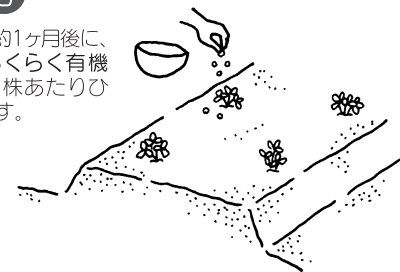
実が成りはじめたらネットなどで鳥の食害対策をしましょう。果実が真っ赤に熟したもものから収穫します。



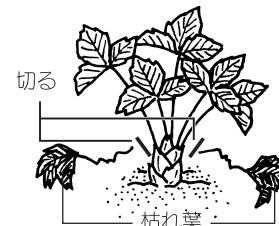
## 3 追肥

### 追肥

追肥は、植え付け約1ヶ月後に、「JAファームらくらく有機100%肥料」を1株あたりひとつまみまきます。



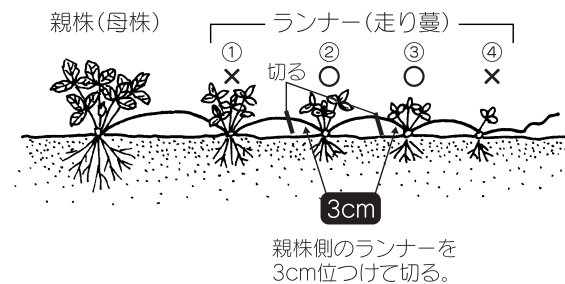
秋植えの場合、冬の間の株の下の方の枯れた葉や傷んだ葉を、小まめに取り除く。植え付け後に、伸びるわき葉は、花をつけることもあるのでそのままにしておくこと。



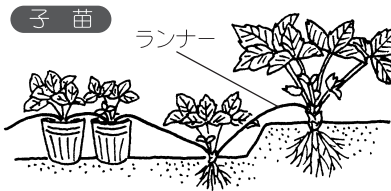
## 6 苗の取り方

親株より伸びるランナーを利用し、子孫を株分けし苗を確保します。

ランナーから出た2番、3番目の苗を使う。



親株側のランナーを3cm位つけて切る。



ランナーを付けたまま鉢上げし育苗する方法もある。

科名	バラ科
原産地	南アメリカ・北アメリカ
連作障害	あり(1~2年)

制作  
**JAファーム** 専門部会  
 (無断転載禁止)